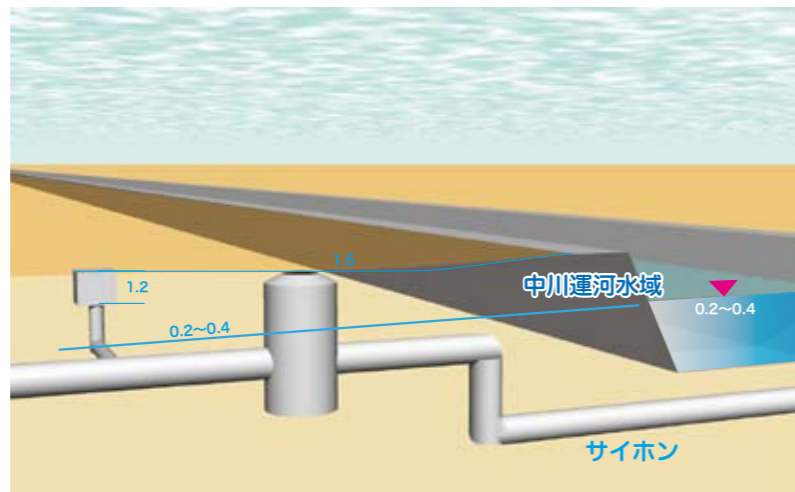


「河川下の横断下水管の耐震化について」議会質問いたしました!

中川運河では4箇所下水道管が横断しており、そのうち3箇所の下水道管は、埋設後80年経過しています。コンクリートの標準耐用年数は50年と聞いていますが、腐食や老朽化した下水道管が地震により破損し、中川運河の水が侵入すると、中川運河の水位と下水道管の水位が同じになり、一部で家庭の下水排水が出来なくなるのではないのでしょうか。また、雨が降ればすぐに浸水する心配を訴えました。

河川下の横断下水管の耐震化についての回答

下水道の耐震化対策につきましては、これまでも順次計画的に進めてまいったところですが、今年度を初年度とする第7次下水道調査改築計画におきましては、避難所などから水処理センターを結ぶ下水道、緊急輸送道路下や軌道下の下水道など重要な幹線等の耐震化を計画的に進めることとします。議員ご指摘の通り、河川下を横断する下水道管については、損傷した場合に周辺へ及ぼす影響が懸念されることから、上下水道局として重要な幹線のひとつとして位置付けているところであり、計画的に耐震化に取り組んでまいりますとの回答をいただきました。



「災害時における備蓄物資の充実について」議会質問いたしました!

避難所では、透析患者も健康な人と同じ食事をするため、塩分・カリウムの過剰摂取となり、体重増加・ストレス・運動不足などの悪影響が考えられます。東日本大震災でも避難所生活の中で透析を受けることが出来なかったうえに、健康な人と同様の食事をし、体調を崩す患者が多く、中には亡くなった方もいます。そこで、人工透析患者など腎臓病患者が避難所で安心して摂取できる食品の備蓄について検討すべきと訴えました。

災害時における備蓄物資の充実についての回答

本市では、発生直後に緊急に必要な物資として、乾パンを始めとする40万食分の食料や毛布、紙おむつなどの生活用品を備蓄しております。そうした備蓄物資の中に、要援護者に配慮した備蓄食料として、アレルギー対応のアルファ化米及び粉ミルクを備蓄しているところでございます。災害時の対応として、基本的には、災害に備えて、ご自宅において7日分程度の食糧を備蓄いただくとともに、いざというときには、持ち出す分といたしまして3日分をご準備いただくことを周知させていただいております。腎臓病患者の方につきましても、同様のお願いをしているところです。しかし、緊急時には日頃の準備だけでは限界もあるというところでございます。今後は、震災対策基本方針に基づく検討の中で、災害備蓄物資の品目について議論することとしておりますので、その中で、腎臓病患者の方への対応についても検討していきたいとの回答をいただきました。



福田せいじ ネット通信



福田せいじネット通信 2011年12月号 発行責任者 福田せいじ 発行日 2011年12月21日

ご挨拶

雪の便りも届くころとなりましたが、皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃、皆様には公明党へのご支援を賜り誠にありがとうございます。

心より感謝申し上げます。

本年も残すところあと僅かとなりましたが、皆様には大変にお世話になりました。明年も、安心・安全の街づくりのため皆様の気持ちになり全力で戦ってまいります。皆様には、益々のご尽力を賜りますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

名古屋市議員 福田 誠治



3.11東日本大震災

がんばれ!日本!!

一日も早い復興を!



8月15日～8月16日の2日間、公明党市議団5名にて陸前高田市、釜石市、気仙沼市に行ってまいりました。10月31日～11月2日までの3日間は、千葉県浦安市・宮城県仙台市を経済水道委員会として視察させていただきました。

津波や液状化による被害の恐ろしさを目の当たりにし、名古屋市においても今以上に震災対策に力をいれて行くべきであると強く決意した視察になりました。

この度の震災でお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。



市民相談 随時受付しております。
南区法律相談 要予約 ■毎週第1・第3木曜日(19時～21時)
毎月第4金曜日は金山総合駅でも法律相談を行っています。お気軽にご相談ください

福田せいじ事務所
〒457-0866 名古屋市南区三栄 2-6-8
TEL052-693-6922 FAX052-693-6921
<http://www.s-fukuta.jp/>